

令和6年度門真市立公民館及び門真市立門真市民プラザ 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和5年度

施設のサービス水準の視点コメント

利用者アンケートの結果からも、設備に関することや職員の対応についてなど、サービス面において概ね満足いただいているため、引き続き利用者目線の運営に務めていただきたい。

収支状況 コメント

収入においては、新型コロナウイルスによる影響は残るものの、施設利用料は実績額が予算額を若干上回る結果となったことは、指定管理者の施設を使いやすくする工夫や努力の結果であると思われる。しかしながら、事業収入において実績額が予算額を下回っていたため、収入合計としては実績額が予算額を下回る結果となった。
支出においては、今年度は物価高騰に対する支援金等がない状況の中で、賃金引上げや光熱水費の高騰によって人件費や管理費の実績額が予算額を上回る結果となってしまったが、印刷費や備品購入費等を節約することで更なる支出増を抑える工夫をして運営していた点は評価したい。
今後も光熱水費の高騰等は続くと思われるが、事業の実施方法を工夫するなどして、利用者の増加を期待したい。

市による総合評価 コメント

新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、生涯学習活動の発表の場でもある生涯学習フェスティバルや公民館まつりを本年度も通常開催し、利用者の日々の活動の励みとなった点を評価したい。
また、市民プラザにおいては、青少年活動センター内の「KADOMA TEENS BASE」がオープン2年目を迎え、中高生の登録者も増えてきたことで、放課後に安心して気軽に利用できる「居場所」としての役割をしっかりと果たしている点も併せて評価したい。
今後も施設利用者にとっては、気持ちよく利用が出来る施設管理を、またイベント参加者にとっては、参加してよかった、また参加したいと思っていただけるような事業の実施を継続していただきたい。また、事務部分においては、当初は事業報告書等の提出が遅れるといった状況が見られたが、徐々に改善されており、今後も引き続き改善に努めることを求める。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった